

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【公開番号】特開2007-117298(P2007-117298A)

【公開日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【年通号数】公開・登録公報2007-018

【出願番号】特願2005-311831(P2005-311831)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 V

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月10日(2008.10.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技機前面を覆う扉体と、

払出装置から払い出される遊技球を貯留する上皿と、

前記上皿にて余剰となった遊技球を貯留する下皿と、

前記上皿に貯留された遊技球が導入される遊技球取込用通路を複数列有するとともに、駆動手段により駆動されることで前記各遊技球取込用通路の遊技球の通過を阻止又は許容するゲート部材を有する取込装置と

を備え、

前記上皿及び前記取込装置を板状部材に組み付けて集合ユニットを構成し、その集合ユニットを前記扉体に対して着脱自在に取り付けた遊技機であって、

前記板状部材に、その左右方向の一端側に前記取込装置を収容する収容部を形成するとともに同他端側から前記収容部に向けて前記板状部材の板面から起立する通路壁部を一体形成し、同通路壁部により、前記余剰となった遊技球を前記下皿に誘導する余剰球誘導通路を形成したことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記払出装置を含む払出機構に存在する遊技球を外部排出通路により遊技機外部に排出する遊技機であって、

前記外部排出通路の外部排出通路壁部を、前記板状部材の板面から起立させ、且つ前記外部排出通路が前記余剰球誘導通路と並行するように形成したことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記取込装置の各遊技球取込用通路を通過した遊技球を取込球排出通路により遊技機外部に排出する遊技機であって、

前記取込球排出通路の取込球通路壁部を、前記板状部材の板面から起立させ、且つ前記取込球排出通路が前記収容部から前記外部排出通路の下流部に合流するよう前記外部排出通路壁部に連続的に形成したことを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記取込装置は、前記遊技球取込用通路から分岐して設けられ遊技球を前記取込装置外

部に排出する排出通路と、同排出通路の入口部分に設けられ同排出通路の遊技球の通過を阻止又は許容する排出ゲート部材とを備え、

前記排出通路に連通し同排出通路を通過した遊技球を排出球誘導通路により前記下皿に誘導する遊技機であって、

前記排出球誘導通路の排出球通路壁部を、前記板状部材の板面から起立させ、且つ前記排出球誘導通路が前記収容部の下方に迂回するように形成したことを特徴とする請求項1乃至請求項3のいずれか1つに記載の遊技機。